



救急医療の場面でSWANネット活用！

新潟市では、救急時に本人と家族、救急隊や医療・ケアチームで活用・共有いただく「**にいがた救急連携シート**」を作成しました。これは、高齢化の進展に伴い今後も増え続ける救急搬送需要に対応するため、また、普段から治療やケア、過ごし方に関する希望を家族などと共有しておくことの大切さについて理解と実践を促し、本人の意思が尊重されやすい医療提供体制の強化につなげることを目的に作成したものです。

そして、このシートをより迅速かつ効果的に活用するため、SWANネットを活用し、救急患者さんの受け入れをする医療機関および救急隊に閲覧機能を有していただくモデル事業を西区で運用しています。

SWANネット (Net4U) に日々登録されている医療・介護の情報や、モデル事業において登録・蓄積していく**にいがた救急連携シート**の情報を、救急搬送時や災害発生時に、**高齢者等施設、救急隊、病院救急外来等の限られたユーザー**が閲覧可能です。

医療機関

■医療情報

- ・患者基本情報
- ・アレルギー
- ・感染症
- ・既往歴
- ・検査結果
- ・処方

日常的に医療介護従事者が利用するSWANネット



新潟市消防局(西消防署) 病院(西区5+西蒲区1)

緊急時に限られた特権ユーザーが利用するSWANネット



介護事業所

■介護情報

- ・ケアに関する情報 (身寄り・親族・担当ケアマネ等)
- ・ACP情報 (にいがた救急連携シート)

招待と承諾による情報共有設定がなされた患者情報のみ閲覧することが可能です。



地域内で登録された**全ての患者**を検索対象として、患者情報を閲覧することが可能です。

■救急搬送時参照機能

- ・セキュアなログイン機能
- ・地域内全患者検索機能
- ・対象患者の情報を俯瞰できるダッシュボード機能
- ・厳格なアクセスログ管理

活用事例

「当院におけるSWANネットの活用法と今後の展望」

当院ではSWANネットは主に居宅療養管理指導の連絡ツールとして使用しております。従来はFAXにてケアマネージャーに報告書をお送りしていましたが、SWANネットを活用することによりケアマネージャーのみならず訪問看護など他の職種にも同時に情報提供がなされるので業務の省力化にも役立っております。

また訪問看護から口の中の状況の写真を送って頂くことで訪問前に患者さんの口腔内の状況が把握でき、診療に必要な物品を事前に用意できたり衛生士単独で訪問した時に指示出すことができた事例もありました。このように歯科にとってSWANネットは訪問診療がより効率良く、より良質なものに出来るツールであると思います。

もっと多くの職種、多くの事業所がSWANネットに参加することにより実際に集まることなく食支援の展開が可能となりますので、今後はその辺も含め推し進めていく所存であります。



いからし歯科 五十嵐源太郎
〒950-2102 新潟市西区五十嵐二の町8254
TEL/FAX 025-211-5260



発行：新潟市医師会 地域医療推進室

〒950-0914 新潟市中央区紫竹山3-3-11
TEL025-240-4135 (直通)
URL:niigata-rc.org

SWANネットのご紹介

